

札幌の将来を考えよう！

「人口減少」「超高齢社会」というかつてない時代を迎える札幌市。その変化に対応するため、今後10年間のまちづくりの指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」をつくります。平成24年度末までの策定を目標に検討を進めていますので、目指すべきまちの将来像について、ぜひご意見をお寄せください。



まちづくり戦略ビジョン編 | 詳細 | 政策企画部企画課 ☎211-2192

ビジョン作りに向けた市民の議論が進んでいます

市民の視点で札幌のまちの課題や将来像を議論するワークショップが開催されました。その内容の一部を紹介します。

テーマ別ワークショップ(市民評価)

4つの課題分野において、これまでの評価を踏まえ、力を入れる取り組みを68人の市民が議論しました。

課題1 高齢化に向けた取り組み

20年後、3人に1人が65歳以上になると予測される中、地域の高齢者の生活を支えるために必要なことは？

- 高齢者を支えるボランティアを広げる仕組みをつくる
- 高齢者が他の世代と楽しめる交流の場をつくる など

課題2 子どもをはぐくむ取り組み

全国に比べて特に少子化が進む札幌が、子育てしやすく、子どもが健やかに育つまちになるためには？

- 自然・農業体験などを通じた、札幌らしい教育によって社会性を育てる
- 携帯サイトなどで子育ての相談ができる仕組みをつくる など

課題3 防災のための取り組み

- ラジオやネットなど多様な方法で正しい情報が得られる工夫をする など

課題4 環境を守るための取り組み

- 明確な目標値を示し、省エネ意識を高める など



参加者は無作為抽出された3,000人のうち参加を希望した方の中から選考されました

※ワークショップの結果の概要は11月末に区役所で配布する予定です

将来の札幌を考える市民会議

29人の市民が、6回にわたり議論。「まちの将来像」と「まちづくりの柱」について検討しました。

市民会議でまとめられた提言の一部を紹介します。

将来のまちの

いいっしょ！一緒に～支え愛のまち札幌

暮らし・コミュニティ 全ての市民が見守り支え合う、暮らし・地域づくり

経済・人材 「食・観光・人」の素材を徹底的に活かした産業づくり

自然・環境 自然と都市が共生する「緑」と「白」のまちづくり

文化・創造 市民が学び育てる「さっぽろ文化」づくり

発信力・独自性 市民の気づきを通じて内側から湧き出すまちの魅力づくり

議論の成果は、有識者などからなる「まちづくり戦略ビジョン審議会」と市長に報告されます。



まちづくり戦略ビジョン作りにご意見を

市役所10階政策企画部企画課、区役所で配布するチラシをご覧の上、政策企画部企画課(〒060-8611中央区北1西2、ファクス218-5109)へ送付、ファクスか、区役所(1階)の広聴係へ持参。

まちづくり戦略ビジョンの詳細は、ホームページ www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/ でもご覧になれます